

NEWSLETTER

📖 特集：2024年秋着任教員紹介

2025年度、APUリサーチのニュースレター復活！

過去発行していたAPUリサーチオフィスのニュースレター。他の先生の研究活動を知ることができる学内媒体として役立っていたと、先生方から復活を望む声を複数いただき、このたびAPUアウトリーチ・リサーチオフィスのニュースレターとして復活しました！

復活号となる今回は、昨年度秋に着任された先生方の研究紹介を行います。
これから定期発行しますので、ぜひご覧ください♪

自己紹介

カリフォルニア大学バークレー校心理学部卒。
在学中に米国人の親友と起業し25年を超える日米での起業家経験を持ちます。その後、若者の中に混ざって（旧）東工大大学院で博士号（学術）を修了。研究分野は認知科学でしたが、その後はずっと医学部に雇われ続け、今はビジネススクールで教育研究活動中。その筋では知られている仏教オタクでもあります。



国際経営学部
平原 憲道 准教授

研究内容

複雑化するこの社会で企業が生き残るには、イノベーションを起こし続ける必要があります。

そこで必要なのが、グローバルな人材開発も含んだ「組織開発/Organizational Development」です。昨今のトレンドであるポジティブ心理学を活用した心理的安全性等も手掛かりにしつつ、組織と個人のウェルビーイングを両立させる探索を行なっています。
研究キーワードは、組織行動、エンゲージメント、マインドフルネス、意思決定心理学、医療情報学、データサイエンス等。

メッセージ

APU学部生へ

学部時代は様々なことにチャレンジを！

私自身、多彩な分野の集合体のような人間ですが、全ての経験がいまに生きています。イノベーションを起こす鍵である「『深層の』多様性」にまみれて、学部生活を楽しみ、鍛えられて下さい！

APU大学院生へ

多様なバックグラウンドを引っ提げて大学院に来ることをお勧めします。多様性は、強固なシステムで串を刺すと圧倒的な力を持ちます。その有用な串の1つが客観的な学問の視点であり、それを鍛える最良の方法は厳密な学術作法でリサーチペーパーを書くこと。並行して、常にpragmatistで在り続けて下さい。そこで身に着けた本物の実力は、実業界でいまずぐ活用できるものになるでしょう。

APU志望受験生へ

AIが圧倒的な力を持つようになる今後の世界では、「価値観の多様性」や「専門分野の多様性」で鍛えられたリーダーしか成功者にはなれません。日常生活レベルでその鍛錬ができる場所は国内には極めて少なく、その例外中の最強環境はAPUだと思います。

チャレンジだらけの環境に、ようこそ！

自己紹介

2024年10月より国際経営学部にて助教として着任し、主にファイナンス分野を担当しています。

専門は不動産投資・ファイナンスで、着任前は不動産業界でテナントリーシング、物件開発、マーケットリサーチ等に従事し、英国留学を経て学位を取得しました。

趣味は水泳と家族との散歩で、大分の自然豊かな環境を満喫しています。



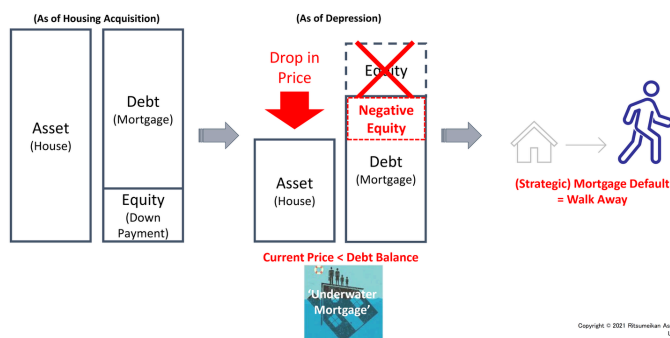
国際経営学部
渡邊 正太郎 助教

研究内容

Global Financial Crisis, Negative Equity & Strategic Mortgage Default in the U.S.

Shape your world
APU
Ritsumeikan Asia Pacific University

- Many households defaulted during the Global Financial Crisis (GFC)
 - Negative Equity:**
 - Housing prices declined after loan origination, falling below the outstanding mortgage balance.
 - Strategic Default:**
 - Borrowers walked away when negative equity made repayment financially unreasonable, regardless of repayment ability. (Driven by the nature of non-recourse mortgages in the U.S.)



不動産市場の研究は、物件自体や取引に関わる企業・家計への多様なアプローチが可能です。

これまでは、米国において、2007年の世界金融危機以降に急増した住宅ローンのデフォルトについて研究しています。住宅ローンの返済能力があるはずの家計による、戦略的デフォルトの選択を示唆する先行研究に関心を抱き、その理論的発展に取り組んでいます。

メッセージ

APU学部生へ

学部教育の大きな魅力のひとつは、多様な知識や視点に触れる機会が豊富にある点です。卒業後は、自ら積極的に動かないと、知らなかった分野に触れる機会は次第に減少してしまいます。

是非、多くの方々と交流し、これまで経験できなかった新たな挑戦や発見を楽しんでください。

APU大学院生へ

自身の興味にもとづいて学びを深めるには、十分な時間と忍耐強い努力が必要です。大学院は、専門的な知識を習得し、研究に専念できる貴重な時間となります。

皆さんの知的好奇心と情熱が、社会をより良い方向へと導く原動力となることを心から期待しています。

APU志望受験生へ

APUは国際色豊かな多文化環境を有しており、自分自身を客観的に見つめ直すための最適な場です。

個人が「知る」ことのできる範囲には限界がありますが、様々な人々とのコミュニケーションを通じて、その枠を広げていくことができるでしょう。

ぜひ、APUで新たな学びと出会いを体験してください。

自己紹介

私は台湾出身で、MBAを修了した後、製造現場で多くの実践的な課題が発生していることに気がきました。修士課程修了後は、産業工学の分野で学際的な博士号を修了しました。

起業家として数年間の経験があり、製造業や物流業界で長い間、コンサルタントとしても活動してきました。また、バックパックが好きで、これまで世界40か国を訪れています。さらにボクシングにも興味がありますが、トレーニング中に何度か怪我をしています。



国際経営学部
CHEN Ping Kuo 教授

研究内容

私の研究は、グローバルな製造業サプライチェーンに焦点を当てており、特に以下の分野を重視しています。

1. サプライチェーンの協調と統合

サプライチェーンの運用環境は、多くの独立したパートナー企業によって構築されており、そのため協働は非常に複雑で困難です。ITは協力的な取り組みを促進することができますが、ほとんどのパートナー企業は自社の利益を守るため、全面的に協力することには消極的です。これは、今日のグローバル・サプライチェーンが直面している大きな課題の一つです。私の研究では、独立したパートナー企業が効果的に協力する意思を持てるようにするための、協調および統合のための戦略について探求しています。

2. グリーン・サプライチェーン

調査によると、環境汚染の多くは製造業のサプライチェーンに起因しています。たとえば、生産過程での排水やガスの排出、輸送による汚染、有害物質による有毒ガスの排出、過剰生産によるエネルギーの過剰消費などが挙げられます。持続可能な環境開発という目標を達成するため、私は近年、グリーン・サプライチェーンの構築に焦点を当てています。主なテーマは、環境の持続可能性のために協力する意欲、グリーンな知識の共有、サプライチェーンのレジリエンス構築などです。

3. AI、ブロックチェーン、メタバースを統合したサプライチェーン研究

近年、ITをサプライチェーンの課題に統合することが重要なテーマとなっています。たとえば、ブロックチェーンはパートナー企業の監視や排出ガスの管理に効果的であり、メタバースは協働プロセスにおけるコミュニケーション障壁を軽減できます。ITの利点は明らかですが、その効果は最終的には導入戦略の設計にかかっています。優れた戦略は、パートナー企業の認識や態度に影響を与え、効果的な経営と長期的で安定した協力関係の実現を可能にします。このような観点から、私は近年、ITの利点とその導入を成功させるための戦略について積極的に研究を進めています。

また、サプライチェーン関連の研究に加え、自身の起業経験をもとに、アントレプレナーシップに関する問題に取り組むこともあります。ただし、私の関心は起業論そのものではありません。多くの起業家との交流を通して、若い起業家が失敗する要因として、アントレプレナーシップに対する誤解、過度なイノベーション追求、そして戦略の不備が多く見られることに気づきました。こうした問題に対処するため、私のアントレプレナーシップ研究は「アントレプレナーシップ教育」に焦点を当てています。教育を通じて起業家のマインドを再構築することで、若い起業家がアントレプレナーシップへの正しい理解を深め、イノベーションをより多角的に捉え、持続可能な起業活動のための知識と戦略を学べるよう支援することを目指しています。

メッセージ

APU学部生へ

大学生活は、人生の中でも貴重な時間です。フロイトは「人格は7歳までに形成される」と言いましたが、私の職務経験から言えるのは、大学での経験がその後30年間の社会的行動や成長に大きな影響を与えるということです。だからこそ、今この瞬間に大学生活を充実させることがとても重要です。

APU大学院生へ

大学院は、専門的な知識やスキルを深める上で非常に重要な段階であり、そこで注いだ努力はキャリアの発展と直結しています。学部時代とは異なり、この時期には産業界に進むのか、あるいは学術の道を進むのかという将来の方向性を明確に定める必要があります。一度その進路を定めたら、その分野に必要なスキルを深く身につけることに集中しなければなりません。

大学院生への私のアドバイスは明確です——このかけがえのない学びの機会を決して無駄にしないでください。

APU志望受験生へ

APUは、単なる教育機関ではありません。ここは、グローバルな視野と変革的な経験への入り口です。APUでは、多様な文化と出会い、視野を広げ、相互につながる世界で活躍するために必要なスキルを身につけることができます。自分自身に挑戦し、成長し、夢に向かって踏み出す準備ができているなら、APUこそがあなたの場所です。

APUの先生方へ

APUの研究情報については、以下をご利用ください。

研究支援ページ

https://www.apu.ac.jp/secure_staff-all/facultysupport/

学内の研究助成制度に関するご案内や申請書類の掲載、科研費の募集情報等を掲載しています。

アウトリーチ・リサーチ・オフィス通信

APUのメールアドレス宛に、隔週で研究情報（学内研究支援、学外助成情報、研究イベントの開催案内など）をお送りしています。

ニュースレター

先生方の研究活動やAPUにおける研究の取り組みを紹介する媒体として、ニュースレターを定期発行します。APU教職員にお送りし、研究活動への理解に役立てていただくとともに、ホームページにも掲載し、地域・社会や受験生の皆さんにもAPUの研究を知っていただく機会になれば幸いです。